

70代男性の非抗酸菌症が ホメオパシーで改善したケース

日本ホメオパシーセンター大阪総本部

富田沙織（JPHMA認定ホメオパスNo.899）

【クライアント】

男性・70代

【主訴】

非抗酸菌症による咳、痰、体重の減少

【経緯、症状】

- 50代後半で受けたレントゲン検査で非抗酸菌症と判明
- 咳、痰が出る。呼吸が苦しくなる。

【その他の症状】

- 皮膚の乾燥、痒み
- 3食バランス良くきちんと食べているのに痩せる
- 虫歯が多い。差し歯が多い
- 前立腺がん 手術でポリープを切除
(その後は薬などはとらず、自然療法で生活全般をケア)

【具体的内容】

- ・ 肺に穴が空いて空気の漏れる音がする
- ・ 働いていたいのが、動くと呼吸がしんどくなる
- ・ 黄色っぽい痰。濁っている。
- ・ 痰が絡み、咳が出て、痰で気道が塞がれる。
- ・ 睡眠時トイレに4回ほど起きる。量も出る。

【相談会 1 回目 処方①】

- 随時 サポート Φhai
 - 朝 Φグリーンデリア + Kali-c.LM01 + Phos.LM01
 - 昼 アルポ Tub.LM02
 - 夜 Φエリオボトリア + Bry.LM03
(三次元処方)
- 朝のミネラルは、肺、激しい咳の問題に合うKali-c,、 Phos.,
- 昼のマヤズムに対しては結核の傾向がみられるのでTub.,
- 夜のレメディーは、皮膚の乾燥、痒みも辛いとのことから
Bry.を
選出。

【相談会2回目 処方②】

- 随時 サポート Φhaien-Omi.+Stann.12X
- 朝 Φアルファアルファ + Kali-c.LM02 + Carb-an.LM02
- 昼 アルポ Tub.LM03
- 夜 Φアーティカプラット + Puls.LM04
(三次元処方)
- 随時に、咳に良いティッシュソルトのスタナンを追加
- 朝 栄養吸収を良くするアルファアルファのチンクチャーに、激しい咳の問題へのKali-c. と、抗疥癬治療の目的とバイタルフォースの底上げを見込んでCarb-an.を選出。
- 昼 マヤズムは引き続き結核傾向のTub.
- 夜 痒みに良いチンクチャーのアーティカプラットに、黄色い痰や冷えた身体という特徴を持つPuls. を選出。

【相談会3回目 処方③】

随時 Φサポート Meneki

朝 Φアルファアルファ Hep.LM03

昼 Φアルポ Tub. LM04

夜 Φファゴファイラム Puls.LM05

皮膚の乾燥、痒み、末端の冷たさにHep.を選出。改善が見られるのでメインレメディーのPuls. などはそのまま継続。栄養吸収のサポートにアルファアルファ、末端の血流改善のサポートにファゴファイラムのチンクチャーを朝晩それぞれにとっていた。

【経過】

- 坂を登ったり、重い荷物を持ったりなどの負荷で息が少し上がるが、日常生活では、ほとんど咳や痰は気にならない。
- 知り合いから、声が元気になったと言われる。
- 体重はまだ増えないが減ってもいない。
- まだとっさにカーッと怒りが出ることがあるがすぐに反省して気を付けるようにしている。

ご清聴ありがとうございました